

臨床検査学教育

JAPANESE JOURNAL OF MEDICAL TECHNOLOGY EDUCATION

第17回 日本臨床検査学教育学会学術大会 抄録集

- 会 期 令和5年8月23日(水)・24日(木)
- 会 場 天理大学 柚之内キャンパス
- テ ー マ 臨床検査学教育・今昔物語
—求められる次世代型臨床検査学教育—
- 大 会 長 戸田 好信 (天理大学)
- 副 大会長 池主 雅臣 (新潟大学)
- 実行委員長 山西 八郎 (天理大学)
- 担 当 校 天理大学 医療学部 臨床検査学科





第17回日本臨床検査学教育学会学術大会 開催にあたり

第17回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長 戸田 好信(天理大学 医療学部 臨床検査学科)

このたび、第17回日本臨床検査学教育学会学術大会を2023年8月23日(水)～8月24日(木)の2日間 奈良県天理市の天理大学柚之内キャンパスにおいて開催いたします。伝統ある学術大会を担当する機会に恵まれたことを大変光栄に存じております。

今大会では原則対面開催で実施し、2日間の会期で行います。開催にあたっては適切な感染対策を講じることはもちろんですが、参加の皆様におかれましては継続して体調管理をお願い致します。

今回のテーマは「臨床検査学教育・今昔物語 ～求められる次世代型臨床検査学教育」としました。

2022年度新入生より適用される教育カリキュラムはさまざまな変更が加えられました。特に臨地実習においては大きく変更されました。

今後、医療現場における臨床検査技師に求められることは時代とともに変わってゆくことでしょうし、果たすべき役割はますます重要になってきます。そのような時代の流れに対応できる臨床検査技師教育も重要なことと考えます。

新カリキュラムに対応した臨地実習前の技能修得到達度評価の取り組みや臨地実習指導者講習会などが始まり、各校で取り組まれていることと存じます。

本大会では、多くの会員の先生方と共に「求められる次世代型臨床検査学教育」を議論し合える場となることを願っています。

本学術大会の企画として2日間の日程ではありますが、1日目は日本臨床衛生検査技師会 宮島 喜文代表理事から基調講演「次世代を担う臨床検査技師に期待すること」をご講演していただきます。教育シンポジウム「カリキュラム改訂後、今後求められる臨床検査技師教育および卒業教育・資格」をシンポジストよりお話しいただき、特別講演では穴井 隆将天理大学柔道部監督から「柔道を通して育んだこと」のご講演していただきます。2日目の教育講演では鳥取大学 浦上 克哉先生より「新カリキュラムにおける認知症教育」についてご講演していただき、ワークショップ「これからのスマート技師教育(仮)」今後の新しい教育への取り組みをお話しいただきます。

また、一般演題など盛りだくさんな企画を予定しています。

一般演題では107演題のご応募をいただきました。

1日目に大学院セッション(32演題)、1・2日目に教員セッション(36演題)、2日目に学部生セッション(39演題)を行いますので活発な後議論をお願いいたします。そのほか教員向けランチョンセミナーは1日目に「臨床検査技師の医療機器メーカーへの就職について」、2日目に「臨床検査技師に必要な医療者教育スキル ～学生教育から医療者教育まで～」「フィジカルアセスメントとしての臨床検査」を開催致します。

本学術大会が、皆様にとって有意義な会となるよう準備・運営することに大きな責務を感じております。

奈良県の8月はまだ暑い時期ではありますが、臨床検査技師教育について深く考える機会となることを期待しています。また東大寺や奈良公園、会場近くには、なら歴史芸術文化村など見所も多くあり、少し足をのばせば、京都、大阪、神戸も近い学会場になりますので会員の先生方には満足していただけることと思います。

感染防止に最大の配慮を行って開催をさせていただきますので、どうかご理解の上、積極的なご参加と演題のご応募をお願い申し上げます。天理市でお目にかかれることお待ちしております。

日本臨床検査学教育学会学術大会
年次別開催一覧

回数	会 期	大会長(所属)	会 場
1	平成18年 8月23日～25日	三村 邦裕 (千葉科学大学)	東京医科歯科大学
2	平成19年 8月27日～29日	加藤 亮二 (香川県立保健医療大学)	香川県県民ホール
3	平成20年 8月20日～22日	大澤 進 (九州大学)	九州大学医学部 百年講堂
4	平成21年 8月19日～21日	佐藤 健次 (東京医科歯科大学)	東京医科歯科大学
5	平成22年 8月18日～20日	木田 和幸 (弘前大学)	弘前大学大学院保健研究科
6	平成23年 8月17日～19日	渡邊 正友 (新潟医療技術専門学院)	新潟大学医学部保健学科
7	平成24年 8月22日～24日	寺平 良治 (藤田保健衛生大学)	名古屋国際会議場
8	平成25年 8月26日～28日	岩谷 良則 (大阪大学)	大阪大学 コンベンションセンター
9	平成26年 8月20日～22日	山藤 賢 (昭和医療技術専門学校)	東京都大田区産業プラザ
10	平成27年 8月19日～21日	奥村 伸生 (信州大学)	信州大学医学部 地域保健推進センター
11	平成28年 8月31日～9月2日	坂本 秀生 (神戸常盤大学)	神戸常盤大学 神戸国際展示場
12	平成29年 8月23日～25日	松下 誠 (埼玉県立大学)	埼玉県立大学
13	平成30年 8月17日～19日	山口 博之 (北海道大学)	北海道大学 学術交流会館
14	令和元年 8月21日～23日	古閑 公治 (熊本保健科学大学)	熊本保健科学大学
15	令和3年 8月18日・19日	秋山 秀彦 (藤田医科大学)	Web 開催
16	令和4年 8月18日・19日	茅野 秀一 (埼玉医科大学)	埼玉医科大学 日高キャンパス
17	令和5年 8月23日・24日	戸田 好信 (天理大学)	天理大学 柚之内キャンパス

第17回日本臨床検査学教育学会学術大会

日 程 2023年(令和5年)8月23日(水)～8月24日(木)

会 場 天理大学 柚之内キャンパス
ふるさと会館、2号棟

担 当 校 天理大学 医療学部 臨床検査学科

大 会 長 戸田 好信(天理大学)

副 大 会 長 池主 雅臣(新潟大学)

実行委員長 山西 八郎(天理大学)

学会テーマ 臨床検査学教育・今昔物語
～求められる次世代型臨床検査学教育

主 催 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会

後 援 厚生労働省
文部科学省
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

事 務 局 天理大学 医療学部 臨床検査学科内
〒632-0018 奈良県天理市別所町80-1

参加者のみなさまへ

- 参加受付は天理大学2号棟2階22A 教室の総合受付でお済ませください。
受付時間：8月23日10:00～16:30
8月24日8:00～15:00
ランチョンセミナーの参加事前登録を確認しますので、事前登録済みの教員は専用の受付にお越しください。
- 参加費は以下の通りです。
協議会加盟校教員(学会会員登録者)：10,000円
協議会加盟校以外の日本臨床衛生検査技師会会員：3,000円(要会員証提示)
学生(大学院生を含む)：2,000円(要学生証提示)
上記以外の参加者：12,000円
事前登録(参加費入金済)の方は抄録集と参加証を郵送いたします。
参加費納入済以外の方で抄録集が必要な方は1冊1,100円(税込)で販売いたします。
- 会場内では、参加証を必ず見えるところにお付けください。
- 会場までの詳細については会場アクセス図でご確認ください。
- 公共交通機関でお越しください。来場者向け駐車場はございません。
- 天理駅～天理大学柚之内キャンパス間の臨時シャトルバス(50人乗)を運行します。時刻表を確認のうえ、ご利用ください。
- 特別企画として天理図書館・天理参考館を見学できます。入館の際、必ず参加証をご提示ください。
- どなたでも天理教教会本部の参拝ができます。
- 企業展示・休憩コーナーは、天理大学2号棟2階22B 教室です。
- クロークは、天理大学2号棟2階22A 教室(総合受付横)です。貴重品は各自お持ちください。日をまたいでお預かりすることはできません。各日のクローク終了時間までに、速やかに荷物をお引き取りください。
- 救護等が必要な場合は、大会本部・総合受付、またはお近くの係員にお申し出ください。
- 本学構内(校舎内だけではなく、バス停および大学構内に隣接の道路も含みます)は全面禁煙です。ご協力をお願いします。

情報交換会について

- 今回は行いません。

昼食のご案内について

《8月23日(水)、24日(木)ランチョンセミナー(教員のみ)について》

- 事前登録時にランチョンセミナーの参加登録をされた教員の方は、必ず総合受付にお越しください。参加証にランチョンセミナー登録済みのシールを貼らせていただきます。

- お弁当は、各ランチョンセミナー開催会場の入口にて、登録シールが貼られた参加証を確認のうえお渡しいたします。各会場内でお召し上がりください。
8月23日：第1会場(ふるさと会館)ホール
8月24日：第1会場(ふるさと会館)ホールおよび第2会場(2号棟3F)
- 事前登録締切後のお弁当のご希望はお受けできません。

《ランチョンセミナー参加の教員以外の方および学生参加者のお食事について》

- 第1会場(ふるさと会館)近くの心光館(学生食堂ラバス)をご利用してください。カフェテリア方式で、好きなメニューが選べます。学生参加者の方には事前登録時に食堂利用のご希望を伺っておりますが、お申し込みの無い方も利用可能です。
- 近隣の飲食店事情が良くないため、教員の方は事前登録にてランチョンセミナーへの参加をお願い致します。

発表者のみなさまへ

一般演題の発表者の方へ

- 一般演題の発表者の方は、各プログラムの開始1時間前までに天理大学2号棟2階22B室、PC受付センターにて発表スライドファイルを保存し、動作確認をお願いいたします。
- PCセンターの開設時間は、23日(水)10:00～16:30、24日(木)8:00～15:00です。
- 発表データをPCに移動する際はUSBメモリーをお願いいたします。USBメモリーは、事前にウイルスチェックをご自身で済ませて来てください。オンラインストレージ経由でダウンロードはいたしかねます。
- リンクデータ(静止画、グラフなど)を用いる場合は、演題番号と発表者名をフォルダ名とし、発表データおよびリンクデータ全てを入れたフォルダを動作確認PCにコピーしてください。
- データ移動・保存で混雑している場合、発表間近のセッションの先生から優先して対応いたしますので、お待ちいただく場合がございます。
- 発表時には必ずバックアップデータをお持ちください。発表の際、データに問題が生じた場合、メディアの提出をお願いすることがあります。
- 発表の15分前までに各会場内前方の次演者席にご着席ください。
- コロナ感染対策として、舞台上に消毒用の除菌シートを置いておりますので、必要に応じて自身でマイク等の消毒をお願いいたします。
- 講演中のPC画面操作は、発表者ご自身による手元操作になります。舞台上のキーボード、マウス、レーザーポインターを操作してプレゼンテーションを行ってください。
- 一般演題発表時間は、発表7分、質疑応答3分になります。発表終了時間1分前に1回、終了時に2回、質疑応答時間終了時に3回、ベルによる合図をさせていただきます。
- 各セッションの進行は、座長の方にお任せいたします。座長の進行に応じて終了するようご協力をお願いいたします。
- 時間厳守での発表、速やかな進行に、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。
- 会場PCにコピーしたデータは、本学術集会終了後に学術集会責任のもと消去いたします。

データの作成・保存

- 事務局では、Windows10Pro(64bit)をご用意します。Macintoshの方はPCをお持ち込み下さい。
- アプリケーションはPowerPoint(2019)を用意しております。
- 画像レイアウトの崩れを防ぐため、使用フォントはWindowsOSに標準装備されている「MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、Times New Roman、Century、メイリオ」を推奨します。
- スライドサイズはワイド画面(16:9)で作成してください。
- 作成されたファイル名は「セッション名_演者名(例：一般演題1_発表太郎)」としてください。
- メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- 発表会場でのデータの修正はできませんので予めご了承ください。
- スライドの枚数に制限はありません。
- 動画ファイル等につきましては動作保障できかねます。動画ファイルでのプレゼンテーションがある方はご自身のPC持込でのプレゼンテーションを推奨いたします。
- 利益相反の自己申告は発表スライドの1枚目(タイトルスライド)の後、2枚目に以下の様なCOI開示スライドを入れて、開示してください。

日本臨床検査学教育学会
COI開示
 発表者名: ○○○○、○○○○、
 ◎ ○○○○(◎代表者)

演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

日本臨床検査学教育学会
COI開示
 発表者名: ○○○○、○○○○、
 ◎ ○○○○(◎代表者)

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

1. 役員、顧問:
2. 株保有・利益:
3. 特許使用料:
4. 講演料:
5. 原稿料:
6. 受託研究・研究助成金:
7. 奨学寄付金:
8. 寄付講座所属:
9. 旅行、贈答品など:

PC 本体持込の場合の注意点

- プロジェクターのモニター端子は HDMI です。変換コネクタが必要な場合は、ご自身でお持ちください。
- AC アダプターを必ずお持ちください。
- スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除しておいてください

一般演題の座長の方へ

- 一般演題の座長の方は、発表の15分前までに各会場内前方の次座長席にご着席ください。
- 教員および学生の一般演題発表時間は、発表7分、質疑応答3分になります。発表終了時間1分前に1回、終了時に2回、質疑応答時間終了時に3回、ベルによる合図をさせていただきます。
- コロナ感染対策として、座長席上に消毒用の除菌シートを置いておりますので、必要に応じて自身でマイク等の消毒をお願いいたします。
- 定刻になりましたら、セッション開始のアナウンス後、セッションを開始してください。
- 各セッションの進行は、座長の方にお任せいたします。詳細は必要に応じて演者とお打ち合わせの上、時間内に終了するよう進行をお願いいたします。
- 時間厳守での発表、速やかな進行に、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

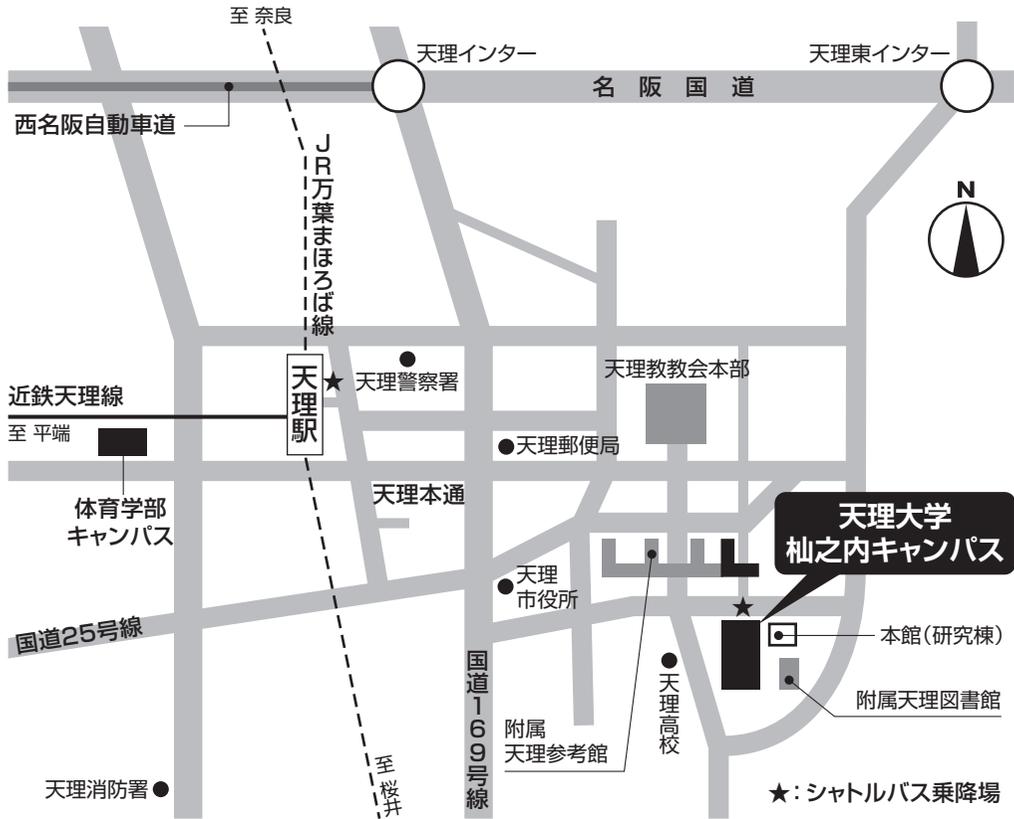
優秀発表賞について

- 学生の発表に対し、教育効果を高めることを目的に優秀発表賞を設けました。
- 優秀な発表を行った大学院生、学部生の各3名に優秀発表賞を授与します。
- 大学院生の受賞者は8月24日の午前中に総合受付に掲示致します。
- 選考は、構成、語句、声の大きさ・明瞭さ・スピード、質疑応答、スライドの完成度・美しさ、質疑応答の的確さ、を含む各項目について、審査員の評価を集計して行います。
- 表彰式は8月24日に第1会場(メインホール)で行う閉会式(15:10～15:30)にて行います。

科目別分科会について

- 科目別分科会は、協議会主催となります。詳細については協議会より連絡があり次第、後日、学会ホームページ等でアナウンスさせていただきます。

会場アクセス図



- 公共交通機関でお越しください。来場者向け駐車場はございません。
近鉄・JR天理駅から、バスで約8分、徒歩で約20分。
- 天理駅～天理大学杉之内キャンパス間の学会期間中、専用シャトルバス（無料：50人乗り）を運行します。下記の時刻表を確認のうえ、ご利用ください。



学術大会用臨時シャトルバス時刻表（1車両最大50名乗車可）

8月23日(水)				8月24日(木)			
天理駅 ▼ 天理大学		天理大学 ▼ 天理駅		天理駅 ▼ 天理大学		天理大学 ▼ 天理駅	
1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車	1号車	2号車
9:00	9:30			7:30	7:45		
10:00	10:30			8:00	8:15		
11:00	11:30			8:30	8:45		
12:00	12:30			9:00	9:15		
13:00	13:30					11:30	11:45
			16:30	16:45			
			17:00	17:15			
			17:45	18:00			
			18:15	18:30			

30分間隔運行 15分間隔運行 15分間隔運行 15分間隔運行

天理駅前バス乗降場エリアマップ



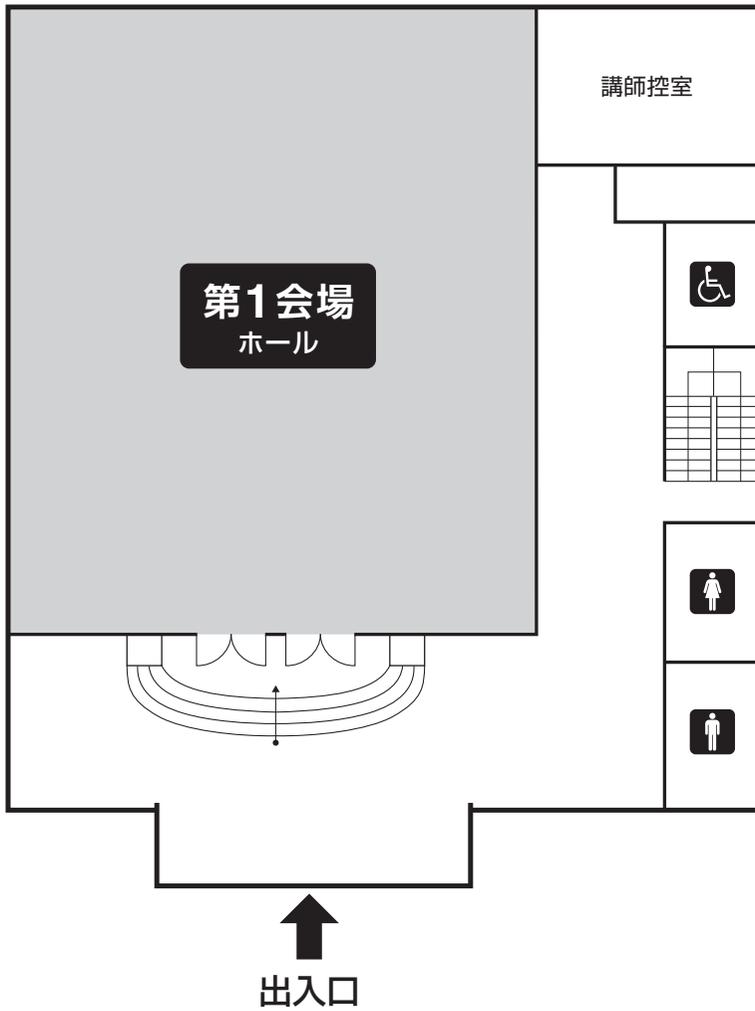
会場構内図



会場案内図

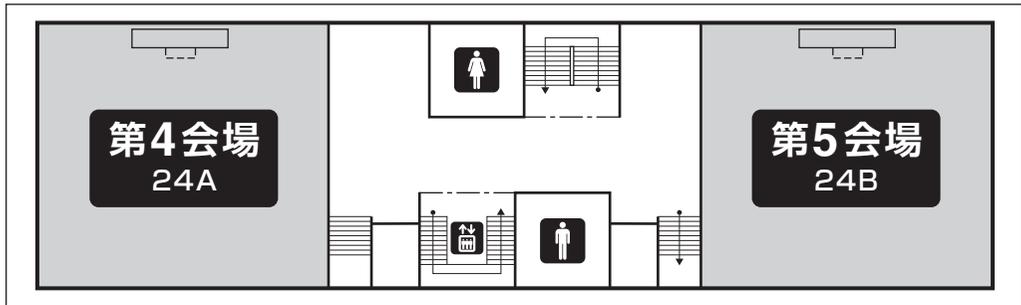
9号棟(ふるさと会館)

2F

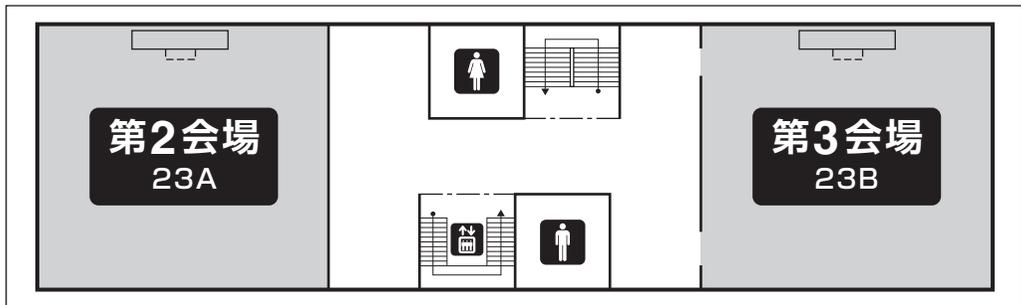


2号棟

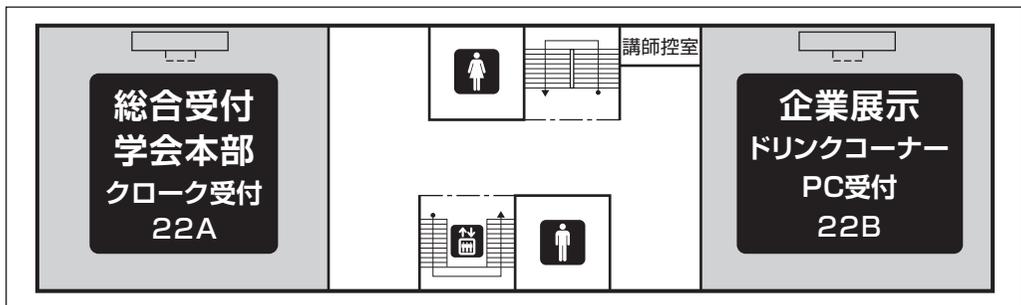
4F



3F



2F



1日目 8月23日(水) 会場：天理大学 杉之内キャンパス

		天理大学 ふるさと会館		天理大学 2号棟						
		第1会場 メインホール		2F 22A	2F 22B	第2会場 3F 23A	第3会場 3F 23B	第4会場 4F 24A	第5会場 4F 24B	
10:00		Zoomライブ会場								
				10:00 16:30	10:00 16:30					
11:00		10:55~11:00 開会式 11:00~11:40 基調講演 カリキュラム改訂後、今後求められる臨床検査技師の卒前および卒後教育 座長：坂本 秀生（神戸常盤大学） 演者：宮島 喜文（日本臨床衛生検査技師会代表理事会長）		総合受付・クローク	PC受付・企業展示・ドリンクコーナー					
12:00	11:50~12:20 * 学術総会									
13:00	12:30~13:20 ランチョンセミナー1* 臨床検査技師の医療機器メーカーへの就職について 座長：山西 八郎（天理大学） 演者：三枝 祐介（アークレイマーケティング株式会社）									
14:00	13:30~15:30 教育シンポジウム カリキュラム改訂後、今後求められる臨床検査技師教育および卒後教育・資格 座長：坂本 秀生（神戸常盤大学） 上田 一仁（関西医療大学） 演者：三村 邦裕（日本臨床検査同学院） 小野寺 利恵（山陽女子短期大学） 岡田 茂治（埼玉県立大学） 増田 詩織（近畿大学奈良病院）						13:30~14:30 一般演題 1 大学院 院01~06	13:30~14:30 一般演題 4 大学院 院17~22	13:30~14:30 一般演題 7 教員 教01~06	13:30~14:30 一般演題 9 教員 教13~18
15:00	15:30~16:30 特別講演 柔道を通して育んだこと 座長：戸田 好信（天理大学） 演者：穴井 隆将（天理大学）						14:35~15:25 一般演題 2 大学院 院07~11	14:35~15:25 一般演題 5 大学院 院23~27	14:35~15:35 一般演題 8 教員 教07~12	14:35~15:35 一般演題 10 教員 教19~24
17:00	17:00~18:00 科目別分科会									
18:00										

* Zoom 配信非対象

2日目 8月24日(木) 会場：天理大学 杉之内キャンパス

		天理大学 ふるさと会館		天理大学 2号棟					
		第1会場 メインホール		2F 22A	2F 22B	第2会場 3F 23A	第3会場 3F 23B	第4会場 4F 24A	第5会場 4F 24B
8:00		Zoomライブ会場							
	8:30~9:00	* 学術評議員会		8:00 15:00	8:00 15:00				
9:00	9:10~10:10	* 一般演題 11 教員 教25~30		総合 受付・ クロ ーク	P C 受付・ 企業 展示 ・ド リン ク コー ナー	9:10~10:00 一般演題 13 学部 学01~05	9:10~10:00 一般演題 15 学部 学10~14	9:10~10:00 一般演題 18 学部 学22~26	9:10~10:00 一般演題 20 学部 学31~35
10:00	10:15~11:15	* 一般演題 12 教員 教31~36				10:05~10:45 一般演題 14 学部 学06~09	10:05~10:35 一般演題 16 学部 学15~17	10:05~10:45 一般演題 19 学部 学27~30	10:05~10:45 一般演題 21 学部 学36~39
11:00						10:40~11:20 一般演題 17 学部 学18~21			
12:00	12:00~13:00	* ランチョンセミナー 2 臨床検査技師に必要な医療者教育スキル ~学生教育から医療者教育まで~ 座長：松本 智子 (天理大学) 演者：西屋 克己 (関西医科大学)				12:00~13:00 ランチョン セミナー 3	座長：和田 晋一 (神戸学院大学) 演者：狩野 賢二 (京都科学/島根大学)		
13:00	13:00~13:50	教育講演 新カリキュラムにおける認知症教育 座長：戸田 好信 (天理大学) 演者：浦上 克哉 (鳥取大学)							
14:00	13:50~15:10	ワークショップ これからのスマート技師教育について 座長：所司 睦文 (京都橘大学) 演者：大栗 聖由 (香川県立保健医療大学) 和田 晋一 (神戸学院大学) 西山 正志 (鳥取大学)							
15:00	15:10~15:30	閉会式		優秀発表者表彰 大会長スピーチ 臨床検査学教育・今昔物語 一求められる次世代型臨床検査学教育一 演者：戸田 好信 (天理大学) 次期大会長挨拶 池主 雅臣 (新潟大学) 閉会挨拶 理事長 坂本 秀生 (日本臨床検査学教育協議会)					
16:00									

* Zoom 配信非対象

一般演題 座長一覧

日	セッション	時間	会場	座長
8月23日(水)	一般演題セッション1 (大学院)院01-06	13:30~14:30	第2会場 (天理大学2号棟3F 23A)	中村 竜也(京都橋大学)
	一般演題セッション2 (大学院)院07-11	14:35~15:25		大瀧 博文(関西医療大学)
	一般演題セッション3 (大学院)院12-16	15:30~16:20		藤原 牧子(森ノ宮医療大学)
	一般演題セッション4 (大学院)院17-22	13:30~14:30	第3会場 (天理大学2号棟3F 23B)	勝田 仁(九州大学)
	一般演題セッション5 (大学院)院23-27	14:35~15:25		長田 誠(群馬パース大学)
	一般演題セッション6 (大学院)院28-32	15:30~16:20		山本 雅大(熊本大学)
	一般演題セッション7 (教員)教01-06	13:30~14:30	第4会場 (天理大学2号棟4F 24A)	上妻 行則(熊本保健科学大学)
	一般演題セッション8 (教員)教07-12	14:35~15:35		大崎 博之(神戸大学)
	一般演題セッション9 (教員)教13-18	13:30~14:30	第5会場 (天理大学2号棟4F 24B)	大井 加世子(帝京短期大学)
	一般演題セッション10 (教員)教19-24	14:35~15:35		小野 公嗣(埼玉医科大学)
8月24日(木)	一般演題セッション11 (教員)教25-30	9:10~10:10	第1会場 (天理大学 ふるさと会館ホール)	畑本 大介(静岡医療科学専門学校)
	一般演題セッション12 (教員)教31-36	10:15~11:15		鈴木 真紀子(四日市看護医療大学)
	一般演題セッション13 (学部)学01-05	9:10~10:00	第2会場 (天理大学2号棟3F 23A)	岡山 香里(群馬パース大学)
	一般演題セッション14 (学部)学06-09	10:05~10:45		与五沢 真吾(埼玉医科大学)
	一般演題セッション15 (学部)学10-14	9:10~10:00	第3会場 (天理大学2号棟3F 23B)	栗林 尚志(麻布大学)
	一般演題セッション16 (学部)学15-17	10:05~10:35		半田 正(群馬医療福祉大学)
	一般演題セッション17 (学部)学18-21	10:40~11:20		齋藤 修(新潟大学)
	一般演題セッション18 (学部)学22-26	9:10~10:00	第4会場 (天理大学2号棟4F 24A)	田中 孝志(帝京短期大学)
	一般演題セッション19 (学部)学27-30	10:05~10:45		渡邊 幹夫(大阪大学)
	一般演題セッション20 (学部)学31-35	9:10~10:00	第5会場 (天理大学2号棟4F 24B)	石原 領(群馬医療福祉大学)
	一般演題セッション21 (学部)学36-39	10:05~10:45		佐藤 拓一(新潟大学)

8月23日(水) 会場：天理大学 杉之内キャンパス

第1会場：ふるさと会館 メインホール

10:55～11:00 開会式

開会挨拶 理事長 坂本 秀生(日本臨床検査学教育協議会)

11:00～11:40 基調講演

座長：坂本 秀生(神戸常盤大学)

カリキュラム改訂後、今後求められる臨床検査技師の卒前および卒後教育

宮島 喜文(一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長)

11:50～12:20 学術総会

12:30～13:20 ランチョンセミナー1

座長：山西 八郎(天理大学)

臨床検査技師の医療機器メーカーへの就職について

三枝 祐介(アークレイマーケティング株式会社 マーケティング本部 学術推進チーム 主任)

13:30～15:30 教育シンポジウム

座長：坂本 秀生(神戸常盤大学)

上田 一仁(関西医療大学)

[カリキュラム改訂後、
今後求められる臨床検査技師教育および卒後教育・資格]

S-1 日本臨床検査同学院が実施する臨床検査技師の認定試験

三村 邦裕(日本臨床検査同学院)

S-2 国家試験成績解析からのアプローチ

小野寺 利恵(山陽女子短期大学 臨床検査学科)

S-3 将来の医療現場で求められる人材育成としての胚培養教育の必要性

岡田 茂治(埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科)

S-4 これからの臨床検査技師に求める教育と資格

増田 詩織(近畿大学奈良病院 臨床検査部)

15:30～16:30 特別講演

座長：戸田 好信(天理大学)

柔道を通して育んだこと

穴井 隆将(天理大学 体育学部、天理大学柔道部監督)

17:00～18:00 科目別分科会

第2会場：天理大学2号棟 23A

13:30～14:30 一般演題セッション1(大学院) (院01～06)
14:35～15:25 一般演題セッション2(大学院) (院07～11)
15:30～16:20 一般演題セッション3(大学院) (院12～16)

17:00～18:00 科目別分科会

第3会場：天理大学2号棟 23B

13:30～14:30 一般演題セッション4(大学院) (院17～22)
14:35～15:25 一般演題セッション5(大学院) (院23～27)
15:30～16:20 一般演題セッション6(大学院) (院28～32)

17:00～18:00 科目別分科会

第4会場：天理大学2号棟 24A

13:30～14:30 一般演題セッション7(教員) (教01～06)
14:35～15:35 一般演題セッション8(教員) (教07～12)

17:00～18:00 科目別分科会

第5会場：天理大学2号棟 24B

9:10～10:10 一般演題セッション9(教員) (教13～18)
10:15～11:15 一般演題セッション10(教員) (教19～24)

17:00～18:00 科目別分科会

8月24日(木) 会場：天理大学 杉之内キャンパス

第1会場：ふるさと会館 メインホール

- 8:30～9:00 学術評議員会
9:10～10:10 一般演題セッション11(教員)(教25～30)
10:15～11:15 一般演題セッション12(教員)(教31～36)
12:00～13:00 ランチョンセミナー2

座長：松本 智子(天理大学)

臨床検査技師に必要な医療者教育スキル
～学生教育から医療者教育まで～

西屋 克己(関西医科大学 教育センター)

13:00～13:50 教育講演

座長：戸田 好信(天理大学)

新カリキュラムにおける認知症教育

浦上 克哉(鳥取大学 医学部 保健学科 認知症予防学講座)

13:50～15:10 ワークショップ

座長：所司 睦文(京都橘大学)

[これからのスマート技師教育について]

W-1 脳波電極装着判定用シミュレータの開発

大栗 聖由(香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科)

W-2 呼吸機能検査における教育用実習機器の開発と教育効果

和田 晋一(神戸学院大学 栄養学部 臨床検査学)

W-3 脳波検査の次世代教育シミュレータに向けた脳症判別手法の開発

西山 正志(鳥取大学 工学部 電気情報系学科)

15:10～15:30 閉会式

優秀発表者表彰

大会長スピーチ 戸田 好信(天理大学)
「臨床検査学教育・今昔物語
—求められる次世代型臨床検査学教育—」

次期大会長挨拶 池主 雅臣(新潟大学)

閉会挨拶 理事長 坂本 秀生(日本臨床検査学教育協議会)

第2会場：天理大学2号棟 23A

9:10～10:00 一般演題セッション13(学部) (学01～05)

10:05～10:45 一般演題セッション14(学部) (学06～09)

12:00～13:00 ランチョンセミナー3

座長：和田 晋一(神戸学院大学)

フィジカルアセスメントとしての臨床検査

狩野 賢二(株式会社 京都科学 アドバイザー、島根大学 医学部 非常勤講師)

第3会場：天理大学2号棟 23B

9:10～10:00 一般演題セッション15(学部) (学10～14)

10:05～10:35 一般演題セッション16(学部) (学15～17)

10:40～11:20 一般演題セッション17(学部) (学18～21)

第4会場：天理大学2号棟 24A

9:10～10:00 一般演題セッション18(学部) (学22～26)

10:05～10:45 一般演題セッション19(学部) (学27～30)

第5会場：天理大学2号棟 24B

9:10～10:00 一般演題セッション20(学部) (学31～35)

10:05～10:45 一般演題セッション21(学部) (学36～39)

一般演題 8月23日(水) 天理大学 杉之内キャンパス

セッション1(大学院)

13:30～14:30 第2会場:天理大学2号棟 23A

座長:中村 竜也(京都橋大学)

- 院01** プレート法を用いた Biofilm 形成能の測定培地の検討
上田 柊太 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科
- 院02** *Acinetobacter baumannii* における薬剤耐性機構の解析
小林 大幹 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科
- 院03** 臨床分離 *Staphylococcus aureus* における
接着性マトリックス分子保有率の検体別比較
田中 浩貴 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科
- 院04** CHG 曝露後株における CPC との交差耐性の検討
小宮山 謙太 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科
- 院05** 生薬・漢方薬による緑膿菌のピオシアニン抑制効果の検討
正木 杏実 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科
- 院06** *Clostridium perfringens* のフィブロネクチン結合タンパク質(FbpA、FbpB)
のデルマトポンチン結合サイトの特定
遠藤 晃範 岡山理科大学大学院 理学研究科 臨床生命科学専攻

セッション2(大学院)

14:35～15:25 第2会場:天理大学2号棟 23A

座長:大瀧 博文(関西医療大学)

- 院07** ペットボトル(緑茶・紅茶・コーヒー)に残留・生育する微生物叢の
プロファイリング
宮沢 美里 新潟大学大学院 保健学研究科 臨床化学研究室
- 院08** 不織布マスク用スプレーの噴霧効果の微生物学的検証
阿部 峰士 新潟大学大学院 保健学研究科 臨床化学研究室
- 院09** 医療排水より検出されたメロペネム・チゲサイクリン両剤耐性菌の
薬剤耐性の解析
石村 菜穂子 北里大学大学院 医療系研究科
- 院10** 2022年度における医療排水および下水処理場から検出される
広域β-ラクタム耐性菌の実態
小山 真子 北里大学大学院 医療系研究科

院11 ヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用いたコクサッキーウイルス B 群の研究基盤構築と Remdesivir によるウイルス特異的抑制の検証

福住 悠太朗 北里大学大学院 医療系研究科 環境微生物学

セッション3(大学院)

15:30～16:20 第2会場:天理大学2号棟 23A

座長:藤原 牧子(森ノ宮医療大学)

院12 ホモシステインチオラクトン添加血清におけるパラオキシナーゼ1の評価

川口 莉奈 東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野

院13 メンタルストレスの指標となる新たなバイオマーカーの探索

石谷 理紗 純真学園大学大学院 保健衛生学専攻

院14 16アミノ酸からなるペプチド群を用いた症状発現に関わるエピトープの解析

河島 妃和 名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻

院15 自己免疫性甲状腺疾患における制御性 B 細胞変動のフローサイトメトリーによる解析

河田 悠太郎 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座

院16 体外式膜型人工肺 (ECMO) 内圧上昇の原因の解明
～模擬体外循環時に増加する脱シアル化血小板に焦点を当てた検証～

荒尾 ほほみ 熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科 臨床検査領域

セッション4(大学院)

13:30～14:30 第3会場:天理大学2号棟 23B

座長:勝田 仁(九州大学)

院17 S100A8 タンパク質投与がラット実験性大腸炎の病態に与える影響について

松尾 佳乃 京都橘大学大学院 健康科学研究科

院18 胎児期初期から中期の血管径変化より紐解く循環動態の検討

中井 尚一 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 形態形成基礎医療科学研究室

院19 乾癬様病態モデルを用いた皮膚における膜型プロスタグランジン E 合成酵素 -1 の役割解析

日置 優花 北里大学 医療衛生学部 薬理学

院20 染色体凝縮におけるマグネシウムイオンの役割

宍戸 優歩 東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 形態情報解析学分野

院21 烏口上腕靭帯 (CHL) の正常時における解剖学的解析

手島 麻貴 東京医科歯科大学 歯学総合研究科 形態情報解析学分野

院22 アミロイドβがうつ様行動に与える影響の解析

寺戸 大樹 岡山理科大学大学院 理工学研究科 自然科学専攻

セッション5(大学院)

14:35～15:25 第3会場:天理大学2号棟 23B

座長:長田 誠(群馬パース大学)

院23 有機リン系殺虫剤が

マクロファージの NAD 合成および酸化リン酸化に及ぼす影響

吉田 七海 名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻

院24 うつ病モデルマウスにおける新たな行動試験の検討

山城 茉唯 岡山理科大学大学院 理学研究科 臨床生命科学専攻

院25 薬剤添加による細胞外小胞のマトリックス分解酵素抑制効果の比較

井口 和香 岡山大学大学院 保健学研究科 分子病態・循環生理学講座

院26 女性アスリートの三主徴(Female Athlete Triad)モデルマウスの腎臓と骨格筋に及ぼす影響

酒井 翔太 筑波大学

院27 老化・寿命におけるミトコンドリア DNA 核様体の役割の検討

久保 乃愛 純真学園大学大学院 保健衛生学専攻

セッション6(大学院)

15:30～16:20 第3会場:天理大学2号棟 23B

座長:山本 雅大(熊本大学)

院28 Lobular endocervical glandular hyperplasia 細胞と正常頸管腺細胞(増殖期、分泌期、閉経期)におけるテクスチャ解析を用いた判別分析

齋藤 祐斗 信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

院29 統合的プログラム細胞死“PANoptosis”の免疫組織化学的解析

白井 留加 藤田医科大学大学院 保健学研究科 臨床検査学領域

院30 NETs はがんの発育・進展に関与しているのか
～がんの微小環境における免疫組織化学的解析～

小栗 海斗 藤田医科大学 保健学研究科 臨床検査学領域 形態・細胞機能解析学分野

院31 拡散テンソル画像を用いた水晶体線維細胞の配向性の検討

八田 桃佳 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻

院32 超音波による胸管終末部の描出

嶋田 孝樹 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科

セッション7(教員)

13:30～14:30 第4会場:天理大学2号棟 24A

座長:上妻 行則(熊本保健科学大学)

- 教01** 新カリキュラム対応のため臨地実習前技能到達度評価の血液分野の試みについて
吉田 保子 新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 教02** 本校における臨地実習前技能実習に向けた取り組みについて ー第2報ー
高橋 裕治 湘中央医学技術専門学校
- 教03** 本校の臨地実習前技能到達度評価に向けた取り組みについて
～末梢血白血球6分画分類を実施して～
水上 紀美江 湘中央医学技術専門学校 臨床検査技術学科
- 教04** 次年度に向けた本校の臨地実習前技能修得到達度評価における取り組み
加藤 泰宏 四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科
- 教05** 臨地実習前技能修得到達度評価を兼ねた本学科病理検査学実習の成績評価試験
関 貴行 日本医療科学大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 教06** 臨地実習前技能到達度評価に向けた取組みについて
片岡 佐誉 高知学園大学 健康科学部 臨床検査学科

セッション8(教員)

14:35～15:35 第4会場:天理大学2号棟 24A

座長:大崎 博之(神戸大学)

- 教07** 臨地実習前技能修得到達度評価に向けたアクティブラーニング導入の試み
清水 智美 桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科
- 教08** 「実務型 PC 操作課題を用いたアクティブ・ラーニング」による
PC スキルの早期修得とその後続く教育効果を評価する学習プログラムの構築
高橋 祐司 北海道医療大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 教09** 文京学院大学におけるグループ学習導入の試み
藤本 和実 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科
- 教10** 本学の国家試験対策 ～医用工学・公衆衛生学分野へのアプローチ～
高橋 涼 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科
- 教11** web 型自己採点システムを利用した反復演習試験の運用と効果検証
久保田 耕司 山陽女子短期大学 臨床検査学科
- 教12** 臨床検査技師国家試験の全国正答率の推定
稲田 政則 つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科

セッション9(教員)

13:30～14:30 第5会場:天理大学2号棟 24B

座長:大井 加世子(帝京短期大学)

- 教 13** 臨床検査技師への関心度と休退学に関する調査
—本校における調査結果を基に—
佐口 舞 静岡医療科学専門学校
- 教 14** 埼玉医科大学保健医療学部臨床検査学科における高校—大学間の学修方法の
ギャップ解消に向けた取り組み
小野 公嗣 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 教 15** 臨床検査技師教育に必要な危機管理の素養とは
嶋津 翔太 昭和医療技術専門学校 教務課
- 教 16** 医療人として必要なセルフコンパッションを育む教育
山藤 賢 昭和医療技術専門学校
- 教 17** 「学び方を学ぶため」の学習支援について
中前 雅美 京都保健衛生専門学校
- 教 18** 臨床検査技師養成専門学校における大学生生活不安尺度を用いた検討
尾形 隆夫 静岡医療科学専門学校 医学検査学科

セッション10(教員)

14:35～15:35 第5会場:天理大学2号棟 24B

座長:小野 公嗣(埼玉医科大学)

- 教 19** 健常人における皮膚微生物の変動を起こす要因に関する研究Ⅰ
—皮膚健康状態と精神面・心理面との関連—
近末 久美子 川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 教 20** 健常人における皮膚微生物の変動を起こす要因に関する研究Ⅱ
—ストレス時の皮膚細菌数の変動とその関連要因について—
近末 久美子 川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 教 21** 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) が
器官再生能力に及ぼす影響についての検討
千葉 映奈 新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 教 22** 尿および唾液中 cell-free circulating DNA による
サルコペニアの新規バイオマーカーの探索:パイロット研究
吉田 保子 新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 教 23** マウスを用いた動物実験の病理検査学実習への導入
澤田 浩秀 四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科
- 教 24** 免疫検査の学びをもっと自由に、もっと楽しく —蛍光観察を例に—
小野川 傑 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

一般演題 8月24日(木) 天理大学 杉之内キャンパス

セッション11(教員) 9:10～10:10 第1会場:天理大学9号棟(ふるさと会館)メインホール

座長:畑本 大介(静岡医療科学専門学校)

教25 標準12誘導心電図検査の不関電極誤装着を検知する簡便なアルゴリズム構築

齋藤 修 新潟大学 医学部 保健学科

教26 超音波検査における複合的視点から視聴できるVR教材の開発

沖野 久美子 北海道医療大学 医療技術学部 臨床検査学科

教27 心臓の三次元表象獲得のためのVRシステムの試作

田部田 晋 北陸大学 経済経営学部 マネジメント学科

教28 寄生虫顕微鏡スライド標本のデジタル化に向けた取り組み

金橋 徹 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻

教29 実験心理学的手法を用いたイムノクロマト検査トレーニング法の開発

松田 将門 福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科

教30 臨床化学実習における理解向上のための取り組み

田中 ひとみ 岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科

セッション12(教員) 10:15～11:15 第1会場:天理大学9号棟(ふるさと会館)メインホール

座長:鈴木 真紀子(四日市看護医療大学)

教31 臨床検査技師の卒前教育におけるRCPCの活用

幸村 近 北海道医療大学 医療技術学部

教32 大学院生に対する検査部での採血教育の取り組み

藤代 瞳 東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 形態情報解析学分野

教33 血球数算定実習の理解と興味をさらに深める試み

～Brecher法による網赤血球数算定を通して～

水上 紀美江 湘中央医学技術専門学校 臨床検査技術学科

教34 学生教育における尿中赤血球形態の理解度調査

富安 聡 岡山理科大学 理学部 臨床生命科学科

教35 講義満足度としてのNPS(net promoter score)に影響する要因に関する検討

畑本 大介 静岡医療科学専門学校 医学検査学科

教36 臨床検査技師養成課程におけるキャリア教育プログラムの効果と
キャリア意識転換の検証

蓮沼 裕也 桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科

セッション13(学部生)

9:10~10:00 第2会場:天理大学2号棟 23A

座長:岡山 香里(群馬パース大学)

- 学01** 老化促進マウスにおける HAP1/STB の免疫組織化学的検索
増田 美南花 藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科
- 学02** 画像解析による子宮内膜増殖症 LBC 標本の内膜間質細胞凝集塊に関する特徴分析および類似細胞との鑑別指標の検討
奈良 雅明 弘前大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
- 学03** ラット胆管閉塞モデルにおけるピルフェニドン投与による肝線維化抑制効果の検討
鶴見 尚路菜 岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科
- 学04** ラット肝外胆管部分閉塞モデル作製と病態検索
澤田 拓樹 岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科
- 学05** 流動パラフィンを用いた簡易寄生虫液浸プレパラートの長期保存化の試み
中川 真央 北陸大学 医療保健学部 医療技術学科

セッション14(学部生)

10:05~10:45 第2会場:天理大学2号棟 23A

座長:与五沢 真吾(埼玉医科大学)

- 学06** 教室の収容状況の違いが学生の座席選択行動と教員の印象に与える影響
北村 歌菜 つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科
- 学07** ChatGPT が出力した臨床検査技師国家試験の解説・解答の信頼性
鈴木 梨紗子 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科
- 学08** 京都府下の河川における四季に応じた水質変動調査の総括
鎌田 沙良 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科
- 学09** 通気発酵により製造された黒酢中の ACE 阻害ペプチドの解析
染野 紗弥加 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科

セッション15(学部生)

9:10~10:00 第3会場:天理大学2号棟 23B

座長:栗林 尚志(麻布大学)

- 学10** 細胞膜を経由する防御機構の発現におけるコレステロールの重要性についての検討
安藤 梓乃 名古屋大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
- 学11** 免疫学的検査におけるリアルタイム精度管理 Even-check 法の有用性と問題点
矢谷 美月 天理大学 医療学部 臨床検査学科

学12 敗血症モデルマウスを用いた生体侵襲下における重症化への概日リズムの影響に関する基礎的検討
遠藤 麻衣 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

学13 Resistin は敗血症の重症化予測マーカーになりえるか
太田 未唯亜 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

学14 敗血症モデルマウスを用いた敗血症の重症化メカニズムにかかわる因子の検索
矢島 萌愛 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

セッション16(学部生)

10:05~10:35 第3会場:天理大学2号棟 23B

座長:半田 正(群馬医療福祉大学)

学15 白血病細胞および白血病幹細胞の増殖における大豆イソフラボンの効果の検討
木村 彩乃 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

学16 急性単球性白血病細胞の増殖に対する4種のカテキンの効果解析
大脇 有紗 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

学17 凝固線溶波形解析による抗凝固剤・抗線溶剤併用時の凝固線溶機能の解明
植田 みゆ 天理大学 医療学部 臨床検査学科

セッション17(学部生)

10:40~11:20 第3会場:天理大学2号棟 23B

座長:齋藤 修(新潟大学)

学18 デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の心電図指標と長期予後
田島 優人 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 フロンティアバイオサイエンス学科
臨床検査学コース

学19 Fragmented QRS とデュシェンヌ型筋ジストロフィーの心機能低下の関係性
宮崎 ころろ 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 フロンティアバイオサイエンス学科
臨床検査技師コース

学20 視線解析を利用した学習修得度の客観的評価法の開発
森田 朝日 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科

学21 マルチモーダルタスクとfNIRS を利用した脳活動変化
伊藤 優夏 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科

セッション18(学部生)

9:10~10:00 第4会場:天理大学2号棟 24A

座長:田中 孝志(帝京短期大学)

学22 渡航歴無し入院患者由来 NDM-5 型カルバペネマーゼ *Citrobacter koseri* のゲノム疫学解析

酒井 幸音 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻

学23 病院排水から分離された GES 型及び IMP 型カルバペネマーゼ産生菌の全ゲノム解析

陳 菲 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻

学24 河川における第三世代セファロスポリン系薬耐性 *Escherichia coli* の実態調査

谷口 遼羽 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科

学25 スギ由来新規抗菌性物質の評価

原 汀 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

学26 妊婦より分離された B 群連鎖球菌の薬剤感受性の特徴

幅田 朱音 関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

セッション19(学部生)

10:05~10:45 第4会場:天理大学2号棟 24A

座長:渡邊 幹夫(大阪大学)

学27 肺腺癌における形質膜シアリダーゼ NEU3 の発現上昇とその生理学的意義

中山 采音 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

学28 形質膜シアリダーゼ活性阻害による肺腺癌細胞の運動能抑制効果

飯野 帆南 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科

学29 大腸炎モデル動物作製法2種の病態比較

葛城 古都 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科

学30 TGF- β による内皮間葉移行(EndoMT)の段階的遷移に対する影響の検討

田中 瑞稀 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻

セッション20(学部生)

9:10~10:00 第5会場:天理大学2号棟 24B

座長:石原 領(群馬医療福祉大学)

学31 赤血球の脂質代謝解析モデル細胞の構築を目的としたヒト白血球細胞株を用いた赤芽球系細胞への分化条件の検討

又吉 琴子 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻

学32 Paraoxonase1 の評価におけるカルシウム再添加血漿およびアポリポタンパク B 含有リポタンパク除去血漿の有用性

五十嵐 菜緒 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻

- 学33** THP-1細胞とBODIPY標識コレステロールを用いたABCトランスポーターA1依存的コレステロール引き抜き能評価法におけるコレステロール添加量に関する検討

秋山 葉菜恵 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻

- 学34** 血中におけるトランスサイレチンの分子多様性の解析

近藤 あかり 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科

- 学35** LDL粒子径測定のためのLDL粒子マーカーの開発

西林 伶華 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科

セッション21(学部生)

10:05~10:45 第5会場:天理大学2号棟24B

座長:佐藤 拓一(新潟大学)

- 学36** 血中薬物測定の前処理法としての固相ミニカートリッジ Smart-SPE の有用性

石原 みゆ 修文大学 医療科学部 臨床検査学科

- 学37** 動物種の違いによるアルブミン測定法の測定誤差検討

楯 理咲子 岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科

- 学38** 血清除タンパク処理の各手法間の性能比較

山内 涼平 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科

- 学39** 大学生男子アスリートにおけるアルカリホスファターゼ(ALP)高値の関連因子を探る

井上 瑞樹 天理大学 医療学部 臨床検査学科

基調講演

カリキュラム改訂後、 今後求められる臨床検査技師の 卒前および卒後教育

座長：坂本 秀生（神戸常盤大学）

演者：宮島 喜文（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長）

第1会場：ふるさと会館 メインホール

8月23日（水） 11:00～11:40

基調講演

カリキュラム改訂後、今後求められる 臨床検査技師の卒前および卒後教育

宮島 喜文

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長

臨床検査技師の教育は、これまでの時代の変遷に伴う臨床検査技師へのニーズの高まりにより、業務の範囲が徐々に拡大し、これを実施するにあたっての知識や手技、機器等の操作方法や医療安全を中心に実施されてきた。卒前教育は臨床検査技師の養成校において、厚生労働省および文部科学省で定められた指定規則ならびに大学設置基準等を基にカリキュラムが生まれ、これを遵守する形で実施されてきた。一方、卒後教育については、免許取得者が専門学会などの教育セミナー、当会や都道府県技師会等が主催する領域別研修会などに自発的に参加するものが中心であった。

当会では、免許有資格者の職能団体として、平成24(2012)年、自主学習・研修を効果的に実施し、且つ社会から信頼を増すことを目的に、「日臨技生涯教育研修制度」を設け、運用し卒後教育の一端を担ってきた。

今回、臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令が20数年ぶりに改正されたことに伴い、臨床検査技師のカリキュラムは、近年の医師の働き方改革を契機に推進されているタスク・シフト/シェアなどに伴う知識や技術が、単位数の増加とともに、教育内容に追加され、臨地実習なども充実した(「臨床検査技師養成所指導ガイドラインについて」)。令和4年度より施行されその3年後(令和7年)には、この改正されたカリキュラムを履修した臨床検査技師が臨床現場

に輩出されることから、当会の生涯教育制度においても、卒前教育で養われた基盤をより発展させつつ、分野毎の知識が線で繋がり統合する体系的な指導が行われるようにすることにより、将来、どの分野や職域に進んでも、総合的な臨床検査能力を実践レベルで発揮できるよう整えることが急務となった。

更に、今後の臨床検査技師の卒前・卒後教育を考える上で、AIの活用や医療DXの展開など目覚ましい科学技術の発展と、超高齢化に伴う人口減少によって医療及び臨床検査自体の需要が減退することが予想されており、大きな課題であると捉えている。これら課題に関して、卒後教育の重要性を再認識するとともに、医療を行う上で技術的な能力向上や医療以外の領域への職域拡大も視野に取り組みでいかなければならないと考えている。

以上のことから、臨床検査技師の今後の教育は、新技術に伴う教育の追加のみならず、変化の激しい時代の変革に対応したものとする必要がある。常に医療人としての自覚を持ち、コミュニケーションを図り、実践力のある臨床検査技師が求められているが、今後は、更に多様性を受け入れ、進取性を発揮、そして新たな職域分野にも積極的にチャレンジする人材が輩出されることを卒前教育に期待したい。

一般演題

(大学院セッション)

院01 プレート法を用いた Biofilm 形成能の測定培地の検討

○上田 柁太(うえだ しゅうた)、小林 大幹、眞野 容子、古谷 信彦

文京学院大学大学院 保健医療科学研究科

【はじめに】 Biofilm とは物質表面に付着した微生物同士で産生された細胞外マトリックス成分により構成され、主な成分が菌体外多糖であり病原体を保護することで抗菌薬に対して耐性を獲得する。

【目的】 Biofilm 形成は生育環境が異なると形成率が異なると考えられているが、計測に使用される培地が統一化されていない。本研究では、*Escherichia coli* と *Pseudomonas aeruginosa* を対象に栄養成分の異なる数種類の培地を用いてプレート法で Biofilm 形成の違いを調査し、最適な培地を検討した。

【方法】 使用菌株は *E. coli* 5 株、*P. aeruginosa* 5 株、精度管理株として *P. aeruginosa* PAO1 を用いた。

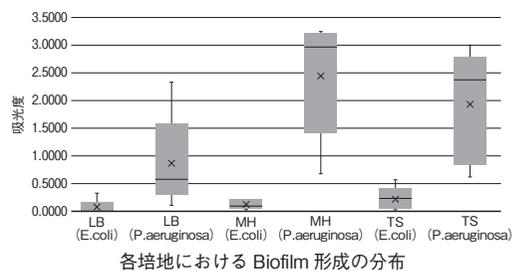
検討培地は Luria-Bertani (LB) 培地、Mueller Hinton (MH) 培地、Trypticase soy (TS) 培地を用いた。Biofilm 形成の測定はクリスタルバイオレット法にて行った。

【結果】 右に Biofilm 形成能の結果を示した。

【考察】 TS には他の培地成分には添加されていないブドウ糖が含まれており、TS 培地における *E. coli*、*P. aerugi-*

nosa の高い Biofilm 形成にはブドウ糖の添加が関与している可能性が示唆され、本結果から *E. coli* のように Biofilm 形成性が低い株であっても栄養の高い培地の使用やグルコースを添加することで Biofilm 形成の増殖を促し安定した Biofilm 形成量を得ることができると考えられた。

さらに LB では再現性は高いが形成率の低下がみられており、これらの項目を考慮すると、使用培地を TS 培地で統一化することで菌種ごとや分離される場所の違いで比較ができるようになると思われる。



院02 *Acinetobacter baumannii* における薬剤耐性機構の解析

○小林 大幹(こばやし だいき)¹⁾、遠藤 優太²⁾、眞野 容子¹⁾、古谷 信彦¹⁾

1) 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科、2) 医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院 医療技術部検査技術科

【はじめに】 *Acinetobacter baumannii* (*A. baumannii*) は、遺伝子変異に適合する能力および様々な耐性メカニズムを獲得する能力に長けており、近年β-ラクタム系、アミノグリコシド系、キノロン系抗菌薬の3系統の薬剤すべてに耐性を示す多剤耐性 *A. baumannii* が問題となっている。*A. baumannii* にはキノロン系抗菌薬には、様々な耐性機構があり、標的領域の変化による薬剤親和性の低下、キノロン透過性障壁、排出ポンプの亢進による菌体内キノロン濃度の低下、プラスミド媒介性キノロン耐性などが報告されている。

【目的】 本研究ではキノロン系抗菌薬の標的領域をコードする *gyrA* 遺伝子の変異による薬剤親和性の低下に起因するキノロン系抗菌薬の耐性化を評価した。

【方法】 供試菌株として関東近郊で分離された、*A. baumannii* 21 株と精度管理株として緑膿菌 ATCC27853 および *A. baumannii* ATCC19606 を用いた。薬剤感受性試験は CLSI に準拠した微量液体希釈法で行い、ciprofloxacin (CPFX)、levofloxacin (LVFX) を使用した。 *gyrA* の変

異の有無は *Hinf* I を用いた RFLP-PCR にて評価した。

【結果】 CPFX、LVFX の耐性株はそれぞれ、21 株、20 株であった。LVFX の中等度耐性株は1株確認された。CPFX においてはすべての株で高度耐性化を示した。また、すべての株において *gyrA* に変異が見られた。

【考察】 すべての株において *gyrA* に変異がみられたことより、標的領域の変化による薬剤親和性の低下がキノロン系抗菌薬耐性化の主要な原因である可能性が示唆された。

第17回日本臨床検査学教育学会学術大会抄録集

令和5年8月1日発行

編集責任者：大 会 長：戸田 好信
実行委員長：山西 八郎

事 務 局：天理大学 医療学部 臨床検査学科内
第17回日本臨床検査学教育学会学術大会 事務局
〒632-0018 奈良県天理市別所町80-1
TEL：0743-63-7811
E-mail：jamte17@tenriyoroze-u.ac.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>